空港跡地のグリーンフィールドである街全体を対象として、BIMを活用したデータの統合・可視化・分析が可能な「空間情報データ連携基盤」を整備し、先端的技術の協調領域とすることで、実証的取組に適したテストベッドを形成し、大田区の課題解決に資する取組みを展開し、早期のサービス実装を目指す。

■位置図



■対象区域の概要

OHICity

○面積:約5.9ha

〇人口:

年間延べ就業者数:約175万人年間延べ集客数:約187万人

■ 対象区域のビジョン 〇「持続可能都市おおた」の形成を支えるテストベッドとしての スマートシティの実装

■本事業全体の概要

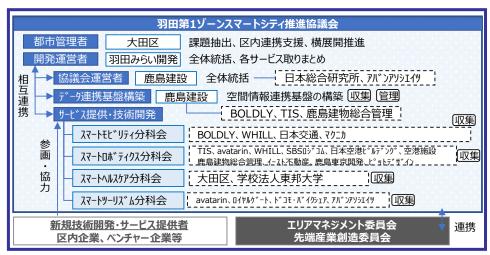


羽田第1ゾーンスマートシティ(羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会)

■スマートシティの目標(KPIの設定)

アウトカム指標 アウトプット指標 新サービス導入数 データ連携基盤を活用した実証実験数 新産業創出件数 スマートシティ関連ビジネスイベント実施 海外との取引件数 大田区の新法人設立数 自律型モビリティ台数 区域の回遊量(移動量) 乗客者数 区民交通満足度 導入モビリティ台数 運営コスト削減率 区内の高齢者に占める要介護認定者割合 区内の介護サービスサービス受給者数 健康アプリ利用者数 区民平均BMI、検診受診割合 区内企業売上高/区内従業者数 ロボット導入種類 維持管理業務コスト削減率 ロボット導入台数 データ活用件数 ロボット運営コスト削減率 来街者数 大田区観光情報発信数 大田区の観光入込客数、日帰り観光客数 AI観光案内利用者数

■運営体制



対策の誘導、健康寿命の延伸

導入技術



₩ データ公開機能

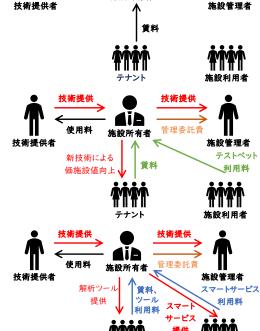
羽田第1ゾーンスマートシティ(羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会)

■ビジネスモデル

①管理コストの削減とともに、当該地区での取り組みをマネタイズ(②テナント収入の向上、③新規ビジネス収入の確保)により持続可能なスマートシティの構築、維持管理、運営を実現。



- ① 管理コストの削減
 - ・人件費の削減
 - 既存業務の効率化
- ② テナント収入の向上
 - ・テストベットの提供
 - ·不動産価値向上
- ③ 新規ビジネス収入 の確保
 - ・スマートサービスの 提供
 - データ・解析ツール 販売



■スケジュール



羽田第1ゾーンスマートシティ(羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会)

■まちの将来像

空間情報データ連携基盤3D K-Fieldと他都市OSとの連携機能を拡充することにより、他都市とのデータやツールの共有を図るとともに、空間情報データ連携基盤のモデルケースとして3D K-Fieldを他都市に横展開することで、データ利活用方策の創出やそのデータ利活用に基づく新ビジネス創出を推進するような連携体制の構築を目指す。

